

10月30日(金)

8:30~10:00 CTO



コーディネーター  
海老澤聡一郎  
信州大学

座長  
海老澤聡一郎 信州大学  
長谷川勝之 東宝塚さとう病院

#### 術前CTでCTO-PCIを攻略する

仲野 泰啓 九州大学病院

#### 時短のためのantegrade approachの工夫

武藤 光範 菊名記念病院

#### 時短のためのretrograde approachの工夫

御手洗敬信 大分岡病院

様々なアルゴリズム、テクニックが世界中で紹介されCTO-PCIは多くの医師によって行われるようになりました。それに伴い各地で活発な議論が行われ、近位部病変や石灰化病変といった難易度の高いCTOへのストラテジーも共有されております。その中で手技時間の短縮は、CTO-PCIが冠動脈疾患における有効な治療法であり続けるために重要な要素だと考えます。また、前向きランダム化研究の難しいこの治療の適応や患者の受ける恩恵を考え続けることも、この治療に関わるに我々の義務だと思います。

今回我々は、治療を計画的に行うためにCTの情報を最大化するコツ、手技時間を短縮するためのコツ、難易度の高いCTOに対応する時に気を付けること、そして最後に最近のCTO-PCIのRCTを紹介します。

CTO-PCIはCCTに参加する多くの若手医師の関心事だと思います。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

#### 難易度の高いCTO-PCI:石灰化病変

矢部 敬之 東邦大学医療センター大森病院

#### 難易度の高いCTO-PCI:近位部病変

山本 隆介 高岡みなみハートセンター

#### 最近のRCTからCTO-PCIの適応を学ぶ

海老澤聡一郎 信州大学

11:00~12:30 Calcified lesion



コーディネーター  
坂倉 建一  
自治医科大学附属さいたま医療センター

座長  
児玉 隆秀 虎の門病院  
坂倉 建一 自治医科大学附属さいたま医療センター

#### 石灰化病変を安全に治療するためのIVUS

武藤 光範 菊名記念病院

#### ロータブレード: Small burrの使いどころ

石原 昭三 耳原総合病院

#### ロータブレード: Large burrの使いどころ

福原 怜 兵庫県立尼崎総合医療センター

冠動脈高度石灰化病変は成熟期にある現代PCIにおいても満足する長期成績を出すことが難しい領域であり、残された課題と考えられます。治療に用いるデバイスとしては古くからあるロータブレード、その後に使用可能となったダイヤモンドバック、そして近年、使用可能となったIntravascular Lithotripsy (IVL)があります。また、こういった特殊なデバイスをするためにはIntravascular imagingの活用が必須です。冠動脈高度石灰化はCTOと違って、頻度が多く、若手の先生方が術者として治療をする機会も多いと思います。本フェローコースでは石灰化病変を安全に治療するためのIVUSの使い方、ロータブレード、ダイヤモンドバック、IVLの使い方についてエキスパートの先生方から学ぶことができますので、若手の先生方の日常診療において役立つものと確信します。皆様、奮ってご参加ください。

#### Rotaではなく、OASが有効な石灰化病変

名越 良治 大阪府済生会中津病院

#### 石灰化病変に対するIVLの有効性と限界

栗山 根廣 宮崎市医師会病院

# Complex Cardiovascular Therapeutics 2026 CCT 2026

会 期

2026年 10月29日(木)~30日(金)

会 場

ポートピアホテル Coronary Theater 3

## Fellow Course



| Web URL | <https://cct.gr.jp/>



@CCTJAPAN



@CCT\_info



# F CCT2026 Fellow Course



CCT Supervisory Director

松野 俊介 心臓血管研究所付属病院

CCT2026 CoronaryのFellow Courseでは、Complex PCIを行う術者が学ぶべき基礎的な知識やTips and tricksを網羅しています。

病変評価にとって欠かせないイメージング、日常臨床において分岐部病変、石灰化病変、CTO病変の中でもより難易度の高い病変を安全にそして効果的に治療するノウハウを学ぶ機会を提供し、同時に一定の確率で遭遇しうる合併症に対するマネジメントと予防を学ぶコースをご用意しております。日常臨床へのフィードバックへの材料として、是非ご活用ください。

10月29日(木)

14:00~15:30 **Complication management**



コーディネーター  
藤田 雅樹  
江戸川病院

PCIの手技・デバイスは進化を続けていますが、それでも尚、合併症は一定の確率で起こります。合併症のリスクを予見し、それを回避するように努めることは、すべての術者にとって極めて重要な要素であると考えます。またひとたび合併症が起こってしまえば、それに適切に対処する方法も知っておかなければなりません。しかしその発生率そのものは高くなく、自身の経験のみではすべてを網羅することは困難です。

本セッションでは経験豊富な演者の方に、様々な状況下での合併症を共有していただき、その予防策や対処法を議論させていただきます。皆様の明日からの臨床のお役に立てるような意義のあるセッションにしたいと思いますので、ご参加をお待ちしております。

座長  
芹川 威 福岡和白病院  
藤田 雅樹 江戸川病院

**デバルキングデバイスによる合併症**  
井ノ口安紀 心臓血管センター金沢循環器病院

**CTO手技関連合併症**  
杉山 拓史 獨協医科大学日光医療センター

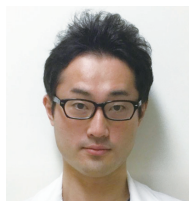
**デバイススタックの対処法**  
田中 康太 桜橋渡辺未来医療病院

**冠動脈穿孔の対処法**  
永井 泰斗 三郷中央総合病院

**その他の手技関連合併症(穿刺部合併症や血栓など)**  
中潟 寛 仙台市立病院

10月29日(木)

16:30~18:00 **LMT bifurcation**



コーディネーター  
小林 範弘  
済生会横浜市東部病院

LMT bifurcation PCIは、治療戦略の選択が予後を大きく左右する最も難易度の高いPCIの一つであり、時に致死的な合併症を来し得る治療です。そのため、あらゆる治療オプションを理解し、病変ごとに現時点で最善と考えられる治療を選択することが重要です。本コースでは、single stentとtwo stent strategyの使い分け、ACSや高度石灰化病変への対応、さらにDCAを用いたLMT・LAD・LCX入口部病変の実践的テクニックまでを体系的に解説します。LMT bifurcationには「これが正解」という単一の治療法はなく、病変形態や患者背景に応じて最適な戦略を組み立てる力が求められます。そのためには、多くの選択肢を知り、それぞれの適応や限界を理解した上で、実際の治療を事前に頭の中でシミュレーションしておくことが重要です。本コースで得た知識が、日々の診療での判断力と引き出しを増やし、自信を持ってLMT bifurcation PCIに臨む一助となれば幸いです。

座長  
越田 亮司 星総合病院  
道明 武範 小倉記念病院

**single stentとtwo stentの使い分け**  
永井 泰斗 三郷中央総合病院

**ACSにおけるLMT病変の注意点と治療法**  
松田 洋彰 中濃厚生病院

**高度石灰化を伴うLMT病変の注意点と治療法**  
御手洗敬信 大分岡病院

**LMT分岐部病変でのDCAの活用法**  
寺村 真範 一宮西病院

**LAD入口部に対するDCAのtips**  
木谷 俊介 札幌厚生病院

**LCX入口部に対するDCAのtips**  
櫻井 将之 牧田総合病院